



木のゆびさし一人ひとりに
株式会社

伊万里木材市場

http://www.imarimokuzai.co.jp

imaroku@imarimokuzai.co.jp

2024年 8月 8日(木)

木栄会通信

第6回林材業労働災害防止大会 in 大分

去る、7月19日(金曜日)に大分県田市で第6回林材業労働災害防止大会 in 大分が開催されました。社内においては林材防の略称で呼ばれるこの安全大会は、前代表取締役である林雅文が弊社の森林整備事業と素材生産事業にかかわる協力事業者様の安全に資する活動がしたい、という思いから始まりました。

新型コロナウイルス感染症の影響、3年間の空白ができましたが2023年より再開することができました。特に本年開催の大分営業所は弊社で最も森林整備事業が盛んな営業所です。そのため、林業事業体の参加も多く大変有意義な労働災害防止大会となりました。大会には60社以上の参加をい



たどき、総勢100名を超す参加者を数えることができました。酷暑の中、このように大勢のご参加をいただいたことは林業事業者がいかに安全を重視して取り組んでおられるのかを表すものだと考えております。重ねてとなりませんが、ご参加いただいた事業者の皆様にご感謝申し上げます。

大会では、以下のようなプログラムが行われました。第一部として、安全講話が実施され『労働災害防止のための事業者の果たす役割』として松尾労働安全コンサルタント事務所 代表 松尾様より近年の林業における労働災害の発生状況と事業者に対する安全への取組を講話いただきました。現場作業者と上司のトップダウンとボトムアップを融合させた安全への取組についての講話がございました。

続いては、株式会社リタプラス 営業企画部 部長 福岡様より題目『高性能林業機械の安全利用と環境保護に向けた労働災害防止の取組』と題して講話をいただきました。株式会社リタプラスは林材防の開催地である大分県田

レポート

市に本社を置き
森林施業受託事

8月号
Vol.133

毎月7日発行



発行所

株式会社 伊万里木材市場木学会事務局
〒八四九-0252

佐賀県伊万里市山代町楠久津一四五番三〇

TEL 〇九五五-二〇二二八三 (代表)

FAX 〇九五五-二八二八五五



見ながら
高性能林業機械を

今回の講話ではその知見を活かして、高性能林業機械の転倒防止策や燃料供給容器の解説をいただきました。特に燃料容器における油漏れや結露が森林の環境や林業機械に与える影響についてのお話はあまり意識したことのない知見で大変なになりました。

第二部では高性能林業機械安全講習として、講話に引き続きリタプラスの福岡様よりご説明をいただきました。今回は初めての取組として会場を変え実際に高性能林業機械を

の講習となりま

大分県は豊かな森林資源に恵まれており、林業は地域経済にとって重要な役割を果たしています。今回の大会でも感じたことですが大分県の豊かな森林資源を循環可能な施業と共に支えているのは地域コミュニティにおける林業事業者と林業に対する地域の理解だと思っております。今回の大会を通じ、林業先進地の一つである大分の知識や技術が広がり参加者それぞれ現場での改善に向けた取り組みが九州全体へ広がることを願っております。

今後も林材業労働災害防止大会は定期的に開催される予定であり、九州各県での特色ある安全意識や技術の紹介事業者間の交流を深めていければと考えております。これからもどうぞよろしくお願ひ申し上げます。
(経営管理部 Y)



木材動向①

◎ 素材

7月の全社素材取扱量は44,900㎡。前年比マイナス10%となり、この数年で一番少ない結果となりました。

減少した原因としては、雨などの天候理由で作業が出来なかった事や、10年に一度の酷暑という厳しい暑さも一つの理由だと思われませんが、一番は下刈りなど造林事業が重なって全体的に生産がストップした事が大きいと考えております。

九州エリアでも全体的に出材が減少している状況で7月中旬以降から徐々にその影響が原木価格に反映しており、特に、松丸太の価格上昇が顕著に見受けられます。

ヒノキの製品動向については相変わらず鈍い状況が続いてはおりますが、丸太につきましては出材量が減少した影響で7月9日市の松丸太において1日市に比べ、1,400円/㎡ほど値上がりした商品もあり、8月も引き続き好調であると思われず。

29日市での販売価格は4m1618C中直 10,800円/㎡ 4m1618C小直 10,800円/㎡ 4m2022C中直 19,700円/㎡ 4m2022C小直 18,900円/㎡という結果となりました。ヒノキ元木の最高落札額は4m3000直30,000円/㎡でした。

杉丸太につきましては、横ばいで高値を維持しております。29日市での販売価格は4m1416中直 16,000円/㎡ 4m1416小直 15,000円/㎡ 4m1822中直 15,000円/㎡ 4m1822小直 13,000円/㎡ 4m2428中直 15,000円/㎡ 4m2428小直 13,000円/㎡と横ばいの結果となりました。

スギ元木の最高落札額は4m426中直13,800円/㎡でした。

造材につきましてはスギヒノキともに基本的に4中をおすすめしておりますが、未だ余尺の長短が異なります。余尺10cm程度の造材をお願いいたします。また、優良材の元木においては余尺が20cm30cmついていた方が販売しやすいので、協力のほどよろしくお願い致します。

造材について、不明な点など、御座いましたら素材部へお問い合わせ頂きますようお願いいたします。

8月30日は木栄会協賛特別市となっております。素材部として準備の方は進めておりますが、まだまだ一般材・優良材とも不足しております。特別市に向けて、出荷のほどよろしくお願いたします。

素材部一同 安全供給 安定販売に努めてまいりますのでより一層の協力をお願い申し上げます。

（本社素材部 T）

◎ 製品

原木に虫害が見え始めて、製材工場は在庫を優先して製材を行っている。6月よりも稼働率、売行きは多少回復したが低調は変わらず、全ての製品在庫は多くなっている。プレカット工場の稼働率に関しても低調で住宅需要の不振は続いており、資材高、運賃高、電気代高などの要因で、先行きも実需不足が予測されている。製品価格は、概ね下げ止まっているが、需要停滞が長期にわたると、再度値下げに転じる可能性がある。米松樹幹品に関しては、7月下旬より、国内最大手は集成材メーカーと歩調を合わせる格好で製品価格の値上げを行った。材木店の仕事は減少しており、一般住宅の増改築分しか動かず、構造材造作材ともに静かな動きをみせている。

7月の当市場の相場は、

◎ ヒノキGR土台 等上4m105X105 50,000円/㎡ 5.5,000円/㎡(前月比横ばい)、ヒノキGR土台 等上4m120X120 52,000円/㎡ 5.8,000円/㎡(前月比横ばい)、ヒノキKD土台4m105X105 70,000円/㎡(前月比横ばい)。

◎ スギGR母屋角1等上30,000円/㎡ 40,000円/㎡(前月比横ばい)、スギKD母屋特1 65,000円/㎡ 6.8,000円/㎡(前月比横ばい)、スギGR平角特1 4m105X150180120厚同(40,000円/㎡ 4.2,000円/㎡(前月比横ばい)、スギKD平角特1 4m105X150180120厚同(65,000円/㎡ 7.0,000円/㎡(前月比横ばい)、スギGR小割(30X45,45X45,45X60)特1 14.8,000円/㎡ 5.3,000円/㎡(前月比横ばい)、スギGR間柱(30X105,45X105)特1 15.0,000円/㎡ 5.6,000円/㎡(前月比横ばい)、スギ野地板2 11.2X小幅30,000円/㎡ 3.3,000円/㎡(前月比横ばい)、スギKD柱3 105X105 A台70,000円/㎡(前月比横ばい)、スギKD間柱3 105,45X105 6.7,000円/㎡ 7.2,000円/㎡(前月比横ばい)、スギAD間柱(30X105,45X105)(6.2,000円/㎡ 6.4,000円/㎡(前月比横ばい)、スギKD小割(30X45,45X45,45X60)30,000円/㎡ 7.5,000円/㎡(前月比横ばい)となつてい。

8月は長期連休がある為、プレカット工場の前倒し加工が多くなりつつあるために、稼働率が良くなる傾向が見

えるものの一時的に「よくなる」だけでなく、9月以降の稼働は低下するとの見通しだ。今後についても、住宅需要不振などの要因が続くと思われるので、製品などの荷動きも悪くなると思われる。

(製材建設部)



営業所C



2024/07/19 日田市で開催された様子

拝読いただいている皆様、3カ月ぶりに南九州営業所の近況をお知らせしたいと思えます。前回、素材生産業者の集まりである森栄大会という組織を紹介させていただきましたが、先月7月25日に第11回通常総会を開催いたしました。4年に渡り会長を務めていただきました原一林業㈱代表原口様が退任されました。新たにG.E.エナジー(有)代表元明様が会長に就任されました。原口社長には4年に渡り森栄会を引っ張っていただき、原木委託出荷を始め、素材生産請負事業や再造林事業など南九州営業所の原木集荷に多大なるご協力を賜りました。言葉では言い表せられないほど感謝の気持ちでいっぱい입니다。新たに就任されました元明会長のものと会員の皆様にご喜んでいただけけるよう、南九州営業所所属一同努めて参りますので引き続きご協力の程、宜し

南九州営業所

営業所便り

南九州営業所から

拝読いただいている皆様、3カ月ぶりに南九州営業所の近況をお知らせしたいと思えます。前回、素材生産業者の集まりである森栄大会という組織を紹介させていただきましたが、先月7月25日に第11回通常総会を開催いたしました。4年に渡り会長を務めていただきました原一林業㈱代表原口様が退任されました。新たにG.E.エナジー(有)代表元明様が会長に就任されました。原口社長には4年に渡り森栄会を引っ張っていただき、原木委託出荷を始め、素材生産請負事業や再造林事業など南九州営業所の原木集荷に多大なるご協力を賜りました。言葉では言い表せられないほど感謝の気持ちでいっぱい입니다。新たに就任されました元明会長のものと会員の皆様にご喜んでいただけけるよう、南九州営業所所属一同努めて参りますので引き続きご協力の程、宜し

くお願いいたします。

さて、南九州営業所の近況と致しましては森栄会会員様、一般の素材業者様からの多大なるご協力を賜りながら、自社生産や素材仕入など原木集荷に努めておりますが、原木不足は否めない状況です。パイオマスタップ用の原木価格の値上がり、輸出事業の好調もあり、B材C材に関しては安定的に集荷が出来ている一方で、A材の集荷と販売に苦戦している状況です。製品の市場価格や需要の変化に影響を受ける建築用材は、集成材の台頭によりA材の市場価値にも変化があるように感じています。昨今の環境問題へ様々な取り組みが行われている中、我々南九州営業所は既存の事業を継続しつつ新たな付加価値を見出し、お客様に喜んでもいただけるよう努めて参ります。

話は変わり、先月7月9日大分県日田市にて第6回林業労働災害防止大会を開催致しました。猛暑の中、参加いただいた皆様には心より感謝致します。来年、第7回は鹿児島県で開催する予定です。皆様に満足いただけるような大会にするべく南九州営業所所属一同全力で準備いたしますので、皆様の参加を心よりお待ちしております。

令和6年度林野関係予算概算要求の重点事項について、総額3,507億円

新たな花粉症対策の展開と森林・林業・木材産業によるグリーン成長

①花粉削減・グリーン成長総合対策200億円

三十年後の花粉発生量の半減に向けてスギ人工林の伐採植替等の花粉発生源対策に加えカーボンニュートラル等の実現に向けて川上から川下までの森林・林業・木材産業政策を総合的に支援する交付金を創設する等の取組を推進

新たな花粉症対策の展開

森林所有者への協力金を通じた伐採植替等の促進、横架材の整備、建築事業に資する集成材工場の整備、建築事業者によるスギJAS構造材の利用拡大

官民を挙げた花粉の少ない苗木の増産

木材加工業者による高性能林業機械の導入、他産業との連携による労働力確保、スギ花粉の飛散防止剤の早期実用化等の取組を支援

林業・木材産業の生産基盤強化

路網の整備、高性能林業機械の導入、搬出間伐の

区分	令和5年度		対前年度費率 %
	当初予算額 百万円	概算要求額 百万円	
公共事業	197,939	235,003	118.7
一般公共事業費	187,540	224,604	119.8
治山事業費	62,291	74,602	119.8
森林整備事業費	125,249	150,002	119.8
災害復旧等事業費	10,399	10,399	100.0
非公共事業費	107,728	120,709	112.0
合計	305,667	355,712	116.4

林業・木材産業の生産基盤強化

路網の整備、高性能林業機械の導入、搬出間伐の

実施、再造林の低コスト化、エリートツリーの安定供給とともに、木材加工流通施設の整備、特用林産振興施設の整備等の推進に向けた取組を支援

林業のデジタル化イノベーションの推進

新業機械の自動化、遠隔操作化や木質系新素材の開発、実証、森林資源情報へのデジタル化、新技術を活用する高度技能者の育成、地域一体で林業活動にデジタル技術を活用する戦略拠点の構築等を支援

建築用木材供給利用の強化

木質耐火部材やJAS構造材の建築物への利用実証普及、大径材活用に向けた技術開発、JAS製材のサブライチエ工場の構築に向けた中小工務店と製材工場のマッチング、製材やC/LTを用いた建築物の低コスト化に向けた技術開発、設計、建築実証等を支援

木材需要の創出・輸出の強化

非住宅建築物における木材利用の促進

工務店の技術サポート、木材製品の輸出促進、合法性確認の取組などの合法伐採木材の利用促進

木質バイオマスを活用した地域内エコシステムを展開

国産特用林産物の需要拡大等を支援

林業の担い手の育成、確保

緑の雇用事業による新規就業者への体系的な研修、就業前の青年への給付金支給、高校生・林業体験学習や女性の活躍促進、森林プランナーの育成、林業経営体の安全診断などの労働安全対策

実施、再造林の低コスト化、エリートツリーの安定供給とともに、木材加工流通施設の整備、特用林産振興施設の整備等の推進に向けた取組を支援

林業のデジタル化イノベーションの推進

新業機械の自動化、遠隔操作化や木質系新素材の開発、実証、森林資源情報へのデジタル化、新技術を活用する高度技能者の育成、地域一体で林業活動にデジタル技術を活用する戦略拠点の構築等を支援

建築用木材供給利用の強化

木質耐火部材やJAS構造材の建築物への利用実証普及、大径材活用に向けた技術開発、JAS製材のサブライチエ工場の構築に向けた中小工務店と製材工場のマッチング、製材やC/LTを用いた建築物の低コスト化に向けた技術開発、設計、建築実証等を支援

木材需要の創出・輸出の強化

非住宅建築物における木材利用の促進

工務店の技術サポート、木材製品の輸出促進、合法性確認の取組などの合法伐採木材の利用促進

木質バイオマスを活用した地域内エコシステムを展開

国産特用林産物の需要拡大等を支援

林業の担い手の育成、確保

緑の雇用事業による新規就業者への体系的な研修、就業前の青年への給付金支給、高校生・林業体験学習や女性の活躍促進、森林プランナーの育成、林業経営体の安全診断などの労働安全対策

実施、再造林の低コスト化、エリートツリーの安定供給とともに、木材加工流通施設の整備、特用林産振興施設の整備等の推進に向けた取組を支援

林業のデジタル化イノベーションの推進

新業機械の自動化、遠隔操作化や木質系新素材の開発、実証、森林資源情報へのデジタル化、新技術を活用する高度技能者の育成、地域一体で林業活動にデジタル技術を活用する戦略拠点の構築等を支援

建築用木材供給利用の強化

木質耐火部材やJAS構造材の建築物への利用実証普及、大径材活用に向けた技術開発、JAS製材のサブライチエ工場の構築に向けた中小工務店と製材工場のマッチング、製材やC/LTを用いた建築物の低コスト化に向けた技術開発、設計、建築実証等を支援

木材需要の創出・輸出の強化

非住宅建築物における木材利用の促進

工務店の技術サポート、木材製品の輸出促進、合法性確認の取組などの合法伐採木材の利用促進

木質バイオマスを活用した地域内エコシステムを展開

国産特用林産物の需要拡大等を支援

林業の担い手の育成、確保

緑の雇用事業による新規就業者への体系的な研修、就業前の青年への給付金支給、高校生・林業体験学習や女性の活躍促進、森林プランナーの育成、林業経営体の安全診断などの労働安全対策

実施、再造林の低コスト化、エリートツリーの安定供給とともに、木材加工流通施設の整備、特用林産振興施設の整備等の推進に向けた取組を支援

林業のデジタル化イノベーションの推進

新業機械の自動化、遠隔操作化や木質系新素材の開発、実証、森林資源情報へのデジタル化、新技術を活用する高度技能者の育成、地域一体で林業活動にデジタル技術を活用する戦略拠点の構築等を支援

建築用木材供給利用の強化

木質耐火部材やJAS構造材の建築物への利用実証普及、大径材活用に向けた技術開発、JAS製材のサブライチエ工場の構築に向けた中小工務店と製材工場のマッチング、製材やC/LTを用いた建築物の低コスト化に向けた技術開発、設計、建築実証等を支援

木材需要の創出・輸出の強化

非住宅建築物における木材利用の促進

工務店の技術サポート、木材製品の輸出促進、合法性確認の取組などの合法伐採木材の利用促進

木質バイオマスを活用した地域内エコシステムを展開

国産特用林産物の需要拡大等を支援

林業の担い手の育成、確保

緑の雇用事業による新規就業者への体系的な研修、就業前の青年への給付金支給、高校生・林業体験学習や女性の活躍促進、森林プランナーの育成、林業経営体の安全診断などの労働安全対策

森林経営管理制度を担う技術者の能力向上等の取組を支援

「新しい林業」の経営モデルの構築

伐採から再造林・保育に至る収支をプラス転換する「新しい林業」の実現に向け、新たな技術の導入による経営モデルの構築等を支援

意欲と能力のある経営者への融資の円滑化を支援

機械導入・施設整備に対する融資の円滑化を支援

山村の活性化

地域の活動組織や都市部との連携による里山林の保全管理や利用、国民参加の植樹の推進、新たな森林コンテンツの制作・普及に向けた取組、森林由来「クレジット」創出・活用に向けた取組等を推進 (本社森林整備部 M)

本学会よりお知らせ

令和6年8月28日に予定しております木栄会第28回総会に関してご連絡をいたします。

同封してあります「木栄会第28回総会」に関して記しました通り総会に關しましては昨年と同様に畫面開催となります。

8月23日には総会資料を発送致しますので会員の皆様におかれましてはお手数ですがご確認いただきFAXなどでの返信をお願いいたします。

8月28日水の木栄会協賛特別市

関しては通常開催いたします。例年通り10時より挨拶・開市となりますので皆様のご来市をお待ちしております。

また、令和6年11月28日には木栄会協賛創立64周年記念市の開催を予定しております。当日は会員登録料を予定しておりますので参加何卒よろしくお願ひ申し上げます。

木材動向②

住宅着工統計

2024年7月3日発表
6月分・出典・株・山田事務所

● 6月の新設住宅着工は、持家・貸家・分譲住宅が減少したため、全体で前年同月比6.7%の減少となった。また、季節調整済年率換算値では前月比5.9%の減少となった。

全国工法別	木造	在来	2×4	木質パネル
戸数	38,357	29,276	8,223	858
前年同月比	-3.3%	-6.3%	8.3%	1.8%

九州地区の新設住宅着工数は、7,064戸、佐賀県で、505戸、長崎県より9戸、前年同月比は、それぞれ、8.0%減、33.6%増、11.7%減と佐賀県のみ増加傾向となった。それ以外は減少傾向が続いている。

全国利用関係別	合計			持家			貸家			分譲		
	戸数	66,285	19,181	28,233	18,361	8,241	10,007	戸建	戸建	戸建	戸建	
前年同月比	-6.7%	-5.6%	-6.2%	-8.6%	-2.1%	-13.8%						

編集後記

◎ 先月13日付の日経新聞「住宅用木材価格、国産より1割高く需要に変化」という見出しで、住宅用木材のうち輸入品の値上がりが目立っており、農林水産省がまとめた6月の平均価格は欧州産材が国産材に比べて約1割高い水準で推移しているとのこと。巴安や海上物流費の上昇を背景に、商社の仕入れコストが上がっているらしく、値下がりが続く国産材に引き合いが強まっていると。国産材に追い風か?と思ったのもつかの間、急速に円高が進んでいるので、またどうなることやら... 動向が注目される。

さて、当方、システム系の人間なので自然と手に取る雑誌もてっち系が多い。

8月28日(水) 木栄会協賛 特別市



アスキーというコンピュータ系の雑誌になんと、木材を真っ直ぐ切れる「ノコギリが苦手な人の救世主「ソーガイド・エフ鋸セット」なるものが紹介されていた。多くのパーツがあつて、鋸を挟むプレートや角度をつけ固定するものなど、それに、簡易作図ツールも無料で使えると。プロフェッショナルな皆さんが使ったら苦笑してしまひそうなのかもしれないが、発想がおもしろいと思つた。どのくらい必要があるのだろうか? 手動なのでたくさん切るには大変だと思つたが、電動工具のような音もなく、静かにひっそりひっそり作業できるところもいいのかと思つた。実売価格8,000円前後後からです。興味のある方はいかがでしょうか?!!

酷暑が続いています。作業される皆様熱中症にお気を付けてください。